



Retain でアーカイブ 2.0 に移行

過去数年間にわたって、アーカイブに対する考え方は進化してきました。2つのパラダイムの間大きな変化の1つは、電子メールのデータを管理し、保管するだけでなく、すべての電子コミュニケーションデータをアーカイブする必要性が生じている点です。

アーカイブ 1.0 から 2.0 へのシフト

近年、アーカイブに求められる機能が変化しています。必要なデータを迅速に見つけ、ユーザーとそのストレージ要件を効果的かつ効率的に管理することで組織を保護する(アーカイブ 1.0)だけでなく、より積極的にアーカイブ機能を使用する必要があります。たとえば、データストレージにしまいこまれた膨大なインテリジェンスを活用し、企業の経営に関する重大な疑問に答えられるようにします。これがアーカイブ 2.0 です。

この変化により、組織は今、電子メール、ソーシャルメディア、インスタントメッセージ、モバイルコミュニケーションデバイスによって作成されたデータを含む、あらゆる種類のデータをアーカイブできるソリューションを求めています。さらに、アーカイブ済みのデータを貴重なビジネスインテリジェンスの源として活用する分析ツールを備えたソリューションも必要とされています。

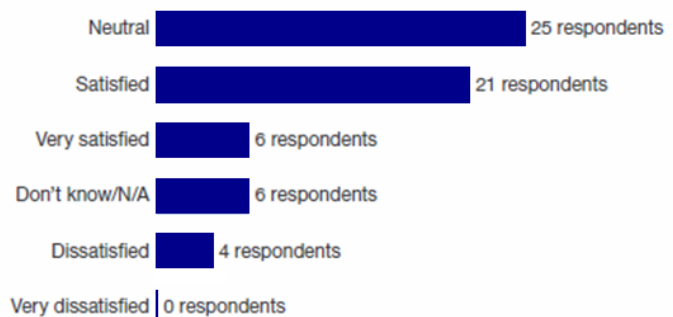
このようなニーズにより、一部の組織は現在のアーカイブソリューション(アーカイブ 1.0)に不満を示すようになりました(以下の図を参照)。現在のアーカイブソリューションに満足している回答者は、半分にも達していません。

従来のアーカイブソリューションからの移行

従来のアーカイブソリューションに対する不満から、多くの組織は次世代のアーカイブ 2.0 ソリューションへの移行を希望するようになりました。移行の理由として、次のような問題が挙げられます。

- 電子メールだけでなく、すべての電子コミュニケーションデータをアーカイブする必要性

"How satisfied are you with your current ECM or archiving solution(s)?"
(Archiving)



Base: 62 ECM professionals

Source: Forrester's July 2014 Global Enterprise Content Management And Archiving Online Survey

図 1. 現在のアーカイブソリューションには改善の余地がある。

- パフォーマンス、検索、分析上の問題: 調査上およびeディスカバリの要求に応えるための検索リクエストに数時間または数日を要することに、組織は耐えられなくなっています。アーカイブ 2.0 ソリューションでは、アーキテクチャが更新され、検索およびインデックスエンジンが改善されているほか、ディスカバリの初期の段階で見つかった膨大な量の電子メールやコンテンツの評価に役立つ分析機能が組み込まれています。
- モバイルデバイスを介したアーカイブの利用が不可: モバイルワーカーの増加に伴い、情報を活用して業務を行う従業員にアーカイブ済みのコンテンツへのアクセスを促す

うえて、モバイルアプリと応答性の高い設計のユーザーインターフェイスは必要不可欠です。次世代のアーカイブソリューションでは、iOS、Android、HTML5 向けのアプリがリリースされており、非技術系ユーザーのニーズに応えています。

- モバイルデバイスを介したコミュニケーションデータのアーカイブ機能の欠落: 組織はモバイルデバイスのコミュニケーションデータを取得してアーカイブする機能を必要としています。従来のアーカイブソリューションおよび次世代のアーカイブソリューションの多くはこの機能を備えておらず、特に、Apple 社が API を公開していない iOS については対応できていません。
- 低い可用性と、エンドユーザーによるアーカイブへのアクセスを簡素化する必要性: アーカイブ済みのデータは企業の歴史と知識の源です。言い換えると、アーカイブ

済みのコンテンツは容易に検索可能であることが必要で、アーカイブのユーザーインターフェイスは使いやすいように設計されていることが必要ということです。従来のアーカイブはこのような機能を備えておらず、エンドユーザーがアーカイブにアクセスするのは困難かまたは不可能です。

- **多様なコンテンツに接続する手段の欠落：**アーカイブには、多様なコンテンツに接続する機能が必要です。たとえば、ソーシャルメディア、インスタントメッセージ、Web 検索、およびモバイルデバイスのデータをアーカイブする機能などです。さらに組織は、ファイル共有やエンタープライズコンテンツ管理 (ECM) などの他のコンテンツに、アーカイブを接続できるようにしておく必要があります。

将来のアーカイブソリューション： Retain でアーカイブ 2.0 に移行

OpenText™ Retain は、あらゆる形式のメッセージングコミュニケーションデータをアーカイブするアーカイブ 2.0 ソリューションです。Retain は、マルチプラットフォームの電子メール、ソーシャルメディア、インスタントメッセージ、モバイル、Web 検索のデータを一元的なアーカイブに保存します。従来のソリューションとは異なり、このアーカイブは 1 つのリポジトリですべてのコミュニケーションデータに対応します。つまり、必要なソリューションは 1 つだけです。Retain には、検索、e ディスカバリの実行、企業データへのアクセス、印刷、エクスポート、編集、

訴訟ホールドを簡単に行える内蔵ツールが搭載されています。

また、Retain は ECM、SharePoint、Laserfiche やその他のファイルシステムへのコネクタも備えているため、それぞれのインデックスを使用してデータソース全体を検索できます。1 度の検索で、すべての電子メール、ソーシャルメディア、モバイル、インスタントメッセージ、Web のデータ、ファイルシステムを対象とした検索結果を抽出することができます。

アーカイブ済みのコンテンツは、手付かずのビジネス知見の源です。Retain を使用することで、その重要なデータを取得し、何としても必要な分析結果を得ることができます。また、一元的なアーカイブで企業の記録を保存し、すべての企業データを管理できます。

従来のアーカイブソリューションを排除し、Retain でアーカイブ 2.0 に移行しましょう。Retain Unified Archiving は、アーカイブ済みのデータに迅速かつ容易にアクセスして分析結果やビジネスインテリジェンスを得ることができる基幹的なツールを備えています。また、Retain を使えば、あらゆるデータをアーカイブできるうえ、コンプライアンスも確保できます。

Retain およびアーカイブ 2.0 について詳しくは、www.microfocus.com/ja-jp/products/retain-unified-archiving/overview を参照してください。

www.opentext.com

お問い合わせ

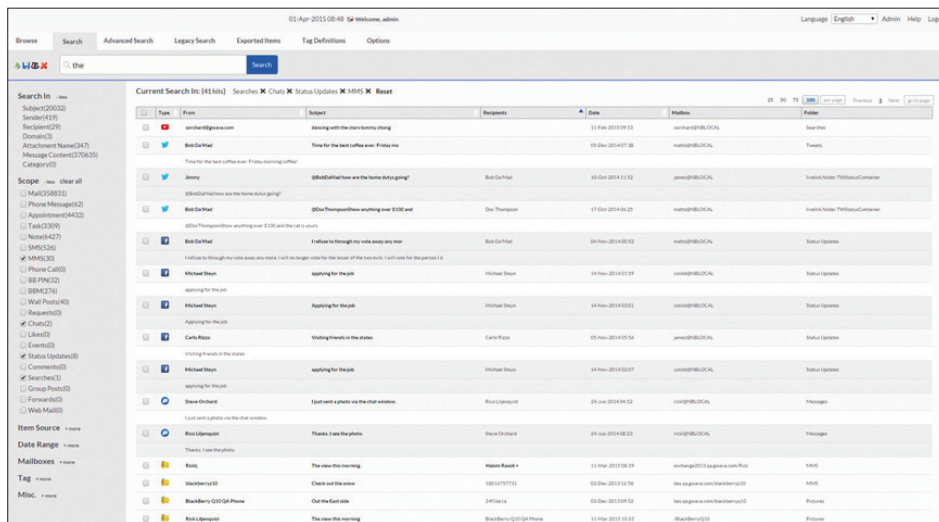


図 2. 一元的な検索結果を示した画面。1 つの統合アーカイブから、電子メール、ソーシャルメディア、インスタントメッセージ、モバイルコミュニケーション、Web 検索のデータがすべて表示されます。